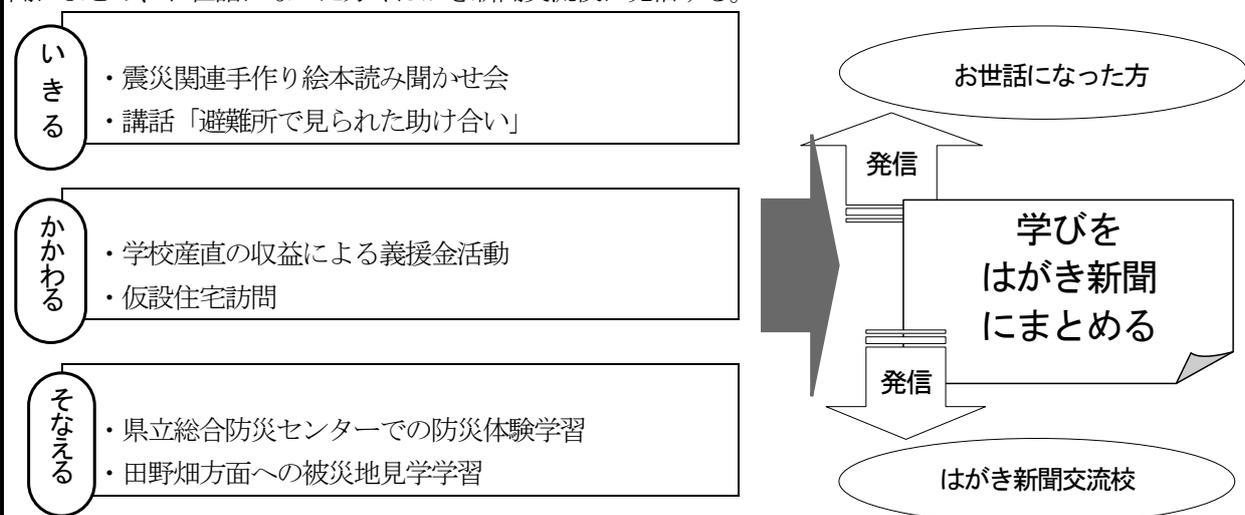


教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
【いきる】 【かかわる】 【そなえる】	④【夢や希望の大切さ】 ⑤【仲間や地域の人々とのつながり】 ⑪【ボランティア】 ⑮【東日本大震災津波の様子と被害の状況】 ⑳【身を守り、生き抜くための技能】	総合・生活 特別活動

【対 象】 亀岳小学校全児童（1～5年）12名

【実践の概要】

「いわての復興教育」を推進する3つの教育的価値について以下の内容で取り組み、学んだことをはがき新聞にまとめ、お世話になった方やはがき新聞交流校に発信する。



【実践の詳細】

田野畑方面への被災地見学【そなえる】

田野畑駅周辺及び中の浜震災メモリアルパークの被災地見学を行った。

田野畑駅周辺では、震災ボランティアより被災時の様子について話を聞いた。全壊前の写真と今の様子を比べたり、実際に避難した高台を見学したりした。児童は津波の速さや到達した高さ、被災時の状況等について真剣に話を聞いていた。

中の浜震災メモリアルパークでは壊れた施設や山の中腹にひっかかった漁具等を見て驚きの声を上げていた。

児童は「津波はものすごい速さだ。」「高い所に逃げないと助からない。」「災害が起こったとき、ラジオや懐中電灯が必需品である。」ことなどを学んだ。



学校産直の収益による義援金活動【かかわる】

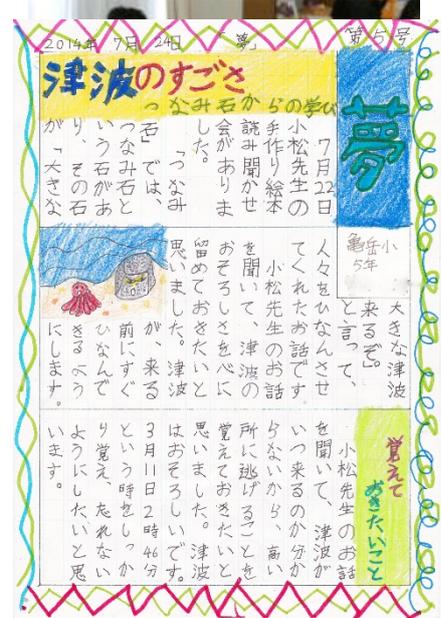
児童の声からはじまった学校産直の開設が今年度で4年目となった。学校園で収穫した野菜を学校産直に出し、その収益を義援金として市に届けている。

児童は、自分達の活動が復興のために役立っているという思いを強くしている。

仮設住宅訪問【かかわる】

被災された方を元気付けようと河南仮設住宅を訪問した。全校で取り組んでいる伝承活動「田代念仏剣舞」、合唱「夢見るジャンプ」、合奏「ミッキーマウスマーチ」を披露した。その後、仮設住宅の皆さんに肩たたきなどをしながら交流を行った。

児童は「笑顔で喜んでもらえた。」「気持ちいいね。ありがとうと言われ、うれしかった。」と話していた。



震災関連手作り絵本読み聞かせ会【いきる】

震災関連の手作り絵本を作成し、公民館で読み聞かせを行い、津波の教訓等を伝えている小松則也氏をお招きして、読み聞かせ会を実施した。

当日は、実在する津波石を題材した「つなみ石」、自分のふるさとを大事にしてほしいというメッセージを込めた「ふるさと」という二冊の手作り絵本の読み聞かせをしていただいた。

児童は「いつまでも震災をを忘れないようにしたい。」「自分のふるさとを大切にしたい。」「大震災の起きた時間をしっかり心に刻んだ。」という感想をもった。



【児童の感想】

- ・仮設住宅の皆さんは、大変なことがあったのに笑顔でせってくださいました。私もみなさんのように、いつも笑顔でいたいと思います。
- ・ぼくは「つなみ石」のお話から、大きな石を動かす津波の恐ろしさを学びました。もしものときに生かしたいです。

【まとめ】

被災した方の話を聞いたり、実際に現地を見学したりすることにより、自分のこととして復興について考えることができた。また、防災体験をすることで防災意識を高めることができた。また、自分達ができる活動として産直の収益による義援金活動及び仮設住宅訪問に取り組み、復興のために役立とうとする意欲をもつことができた。